

開催要領

「もち麦サミット2020 ～生産、加工、流通、販売の
バリューチェーン構築に向けて～」の開催

1. 趣 旨

もち麦(=もち性大麦)は、血中コレステロール量の適正化、内臓脂肪の低減、食後血糖値の上昇抑制等の機能が報告されている水溶性食物繊維β-グルカンを多く含み、かつ食感が優れることから需要が急増しています。しかし、国内生産量が少なく、需要量の大部分が輸入麦で充当されていることから、国産もち麦の早期生産拡大が強く要望されています。そこで、国産もち麦の生産拡大と用途拡大を目指して、もち麦の生産、加工利用、製品開発等に関する事例紹介と、話題提供者と会場参加者の双方向のパネルディスカッション、生産、加工、流通、販売に関わる事業者とのビジネスマッチングのための展示ブースからなるシンポジウムを開催します。

2. 開催日時 : 2020年3月19日(木) 13:10~17:30 (12:00受付開始)

3. 開催場所 : 大田区産業プラザPiO 4階 コンベンションホール
(東京都大田区南蒲田1-20-20)

4. 開催内容

1) 開会挨拶(13:10)

2) 基調講演(13:15)「もち麦ヒットの背景を踏まえ、今後のシーズとニーズを考える」
日経BP総研 客員研究員 西沢 邦浩

3) 講演(13:45~15:25)

(1) 機能性に富み、新たな需要が期待できるもち麦品種

農研機構 次世代作物開発研究センター 麦研究領域 塔野岡 卓司

(2) もち麦品種「くすもち二条」を使った製品開発

株式会社 丸美屋 常務取締役 家村 亨

(3) 小売業界におけるもち麦の商品展開

株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 商品本部デイリー部 園田 康清

(4) もち麦の生産から加工・販売、輸出の取組

おうみ富士農業協同組合 営農経済部 臼井 克祐

(5) 国内産もち性大麦の利用拡大への期待と取組

全国精麦工業協同組合連合会 食糧部 馬木 紳次

(休憩)

4) パネルディスカッション(15:40~16:20)

モデレーター: 農林水産省農林水産政策研究所 企画広報室 吉田行郷

パネラー: 講演者を予定

5) 閉会(16:20)

6) ビジネスマッチング 展示ブースにおけるポスター・実物展示、サンプル等配付、もち麦品種の生産や製品利用に関する相談等(17:30 閉場)

5. 主 催 : 農研機構次世代作物開発研究センター

6. 参加費 : 無料

7. 参加申し込み

下記の1) または2) にて、事前登録をお願いします(2月25日(火)必着)。

1) 以下のホームページよりお申し込みください。

(URL) <https://kikaku.nias.affrc.go.jp/meeting/mochimugi/>

2) 参加申込書にお名前、所属、連絡先(電話、FAXまたはe-mail)を記入し、FAXで事務局宛てにお申し込みください。

(事務処理簡素化のため、極力、ホームページからお願いします。)

定員(200名)に達し次第締め切ります。

・事務局 : 農研機構次世代作物開発研究センター 研究推進室

〒305-8518 茨城県つくば市観音台 2-1-2

TEL:029-838-8942 Fax:029-838-7408 e-mail:www-nics@naro.affrc.go.jp